

「笑わない数学者」

【回数：少】【NPC 巡回型】【ミスリードなし】

依頼主：数学者

「一昨日家に帰ると机の上に置いていた論文の下書きが無くなっていました。家中を探し家族にも聞いたが見つからない、盗難と思い警察に相談しても紛失していたのが下書きだけだというので取り合ってくれない。どうにも釈然としないので手を貸してくれ」

学者：(依頼主)はその道では名の知れた研究者だよ、でも下書きは売れるようなものではないし誰かが好き好んで盗むとは思えないけどね。

商人：下書きかどうかは分からないけれども一昨日うちの息子が紙束持った子と一緒に酒場の主人のそこへ遊びに出かけたよ、遊ぶのはいいけど他所様に迷惑かけてないといいね。

→手がかり「紙束の少年」入手

靴磨き：下書き？路地裏にガキどもが捨てた紙くずがいっぱい落ちてるからそこに紛れてるかもな。

貴族、酒場、記者：風で飛んだだけじゃないのか？

手がかり「紙束の少年」入手後

記者：子供たちの間で飛行機遊びが流行っているようだね。

酒場：この前ガキどもに紙飛行機の折り方を教えたんだがその中に一人小難しい数式書かれた紙持ってきた奴がいたのが記憶に残ってるな、あれは(依頼者)のこの息子じゃなかったか。

→手がかり「数式の書かれた紙」、「息子」入手

出口：手掛かり「紙束の少年」「数式の書かれた紙」「息子」があればクリアとする。

数学者：息子を問いただした所、飛行機遊びをするため勝手に書斎に入り紙を持ちだしたとのこと。以後私の書斎から何か持ち出す時は許可を取る、紙飛行機を街中に捨てて帰らない事を徹底させます、お手数おかけしました。

「振れ屋敷の利鈍」

【回数：中】【特定 NPC 型】【ミスリードあり】

依頼主：不動産屋

「町外れの古い洋館、どうやらそこに悪霊が住むなんて根も葉もない噂を流している奴がいるらしい。こっちは商売であの物件を取り扱っているのにいい迷惑だ、噂の真相を確かめてくれ」

商人：その噂なら聞いたことがあるよ。うちの子供はお菓子持って友達とちょくちょく近くまで行っているみたいだね、肝試し気分なんだろうさ。

学者：非科学的だね。

酒場：あの屋敷な、(依頼主)がこの前「良い物件が破格値で買えた」と酔っ払いながら言いふらしてたが悪霊が出るなんて噂流されちゃ値段下げないと買い手もつかないだろうよ、お気の毒だね。

貴族：あの屋敷は私の知人の持ち家だったのだがどうも小賢しい(依頼主)に二束三文で買い叩かれたらしい。売却の件は記者ぐらいなら知っているだろう、私が話すことではない。

→手掛かり「買い叩き」入手

靴磨き：私もあんなお屋敷に住みたいです

記者：私もそのうわさには興味があつてね、今度特集記事でも書こうと思ってるんだ。なんでも夜中になるとだれも住んでないのに物音がするらしい。学者さんなら“科学的見解”ってやつを教えてくださいませんか？

→手掛かり「夜中の物音」入手

手掛かり「買い叩き」入手後

記者：元の持ち主さんの事か、資金繰りのためお屋敷を手放したみたいだね、急ぎで金が必要だったらしいし安値でも売り飛ばすしかなかったんだろうよ。(依頼主)を恨んでるかって、彼は屋敷の一つや二つ安値で売り飛ばしたぐらいで気にするような人間じゃないよ、むしろ早く資金が集まったと喜んでいるんじゃないか。

→手掛かり「円満な取引」入手

手掛かり「夜中の足音」入手後

学者：幽霊なんて要る訳が無いだろう。夜中に物音がするのであれば何かが夜中に屋敷内をうろついているだけの話、大方空き家になってから住みつけた捨て猫か何かだろうよ。

→手掛かり「捨て猫？」入手

手掛かり「捨て猫？」入手後

商人：うちの子が毎日のお菓子を持って家を出るから不思議に思って問いただしたらあのお屋敷に忍び込んで捨て猫を飼っているんだとさ。なんでも毎日会いにいかないと夜中寂しくて屋敷内を爪でひっかきまわすらしい。

→手掛かり「屋敷猫」入手

出口：「夜中の物音」「屋敷猫」「円満な取引」が理想だが「捨て猫？」の時点でもクリアとする。

不動産屋：猫は商人さんに引き取ってもらう事にしました。噂が消えて売り値が戻れば大儲けですね。

注)子供たちが猫をかくまう場所を奪われる(家を買取られる)を防ぐために悪霊が出るなんて噂を流した、が当初の想定だが参加者に情報を与えるにはNPC増やさないと無理。

「εに誓って」

【回数：多】【特定 NPC 型】【ミスリードなし】

依頼主：女性

「最近夫が休日になると何も言わずどこかへ出かけていきます。気になって夫に行き先を聞いてもはぐらかされてしまいます、私事ですが調査をお願い出来ないでしょうか」

→旦那の写真入手

酒場：(旦那)はたまに呑みに来てたけど、最近は見えてないね。

商人：この人なら最近毎週のように花束を買っていくね。奥さんにでもプレゼントしているのかね、うらやましい限りだよ。

→手掛かり「花束の購入」入手

靴磨き：知らないね。

学者：彼はうちの大学に勤めているが休日に顔を出すことはないね。

貴族：気になる行動だが他人の家庭の事情に踏み込むのは私の性分じゃないのでね、詳しいことは分からないさ。

記者：(依頼主)なら先週女性と共に歩いてるのを見たよ。

→手掛かり「奇妙な隣人」

手掛かり「奇妙な隣人」入手後

商人：あの女性は奥さんじゃなかったのかい、花束買う時はいつもそばにいたもんだからてっきり奥さんだと思ってたんだけどね。大きな宝石が埋め込まれた十字架を身につけてたから良いとこのお嬢さんだと思っただけだね。

→手掛かり「十字架の令嬢」

手掛かり「十字架の令嬢」入手後

学者：十字架をつけた女性ならうちで働いているよ。

貴族：十字架といえば最近うちの娘がよく身につけて外出しているな。なんでも同僚が路地裏で事故に遭ったとかで娘なりの気遣いのつもりなんだろう。

→手掛かり「祈り」

続く

手掛かり「祈り」入手後

靴磨き：そういえば最近路地裏で帰宅途中の男が襲われる事件があったな。犯人はすでに捕まっているみたいだが物騒な世の中になったよ。被害者の事まではよく分からないな、警察みたいな常に事件を追ってるやつなら知ってるかもしれないが。

→手掛かり「被害者は誰だ」

手掛かり「被害者は誰だ」入手後

記者：その事件の被害者なら大学で働いている学者さんだね。前に君が聞いた旦那さんと女性も同じ職場だったはずだよ。

→手掛かり「学者たち」

手掛かり「学者たち」入手後

学者：あの二人なら休日のたびに被害に遭った彼のお見舞いに行っているみたいだね。身近に事件の被害者が出たなんて話をして奥さんを不安にさせないために黙っているのだと思うよ。

→手掛かり「お見舞い」

出口：「お見舞い」が有れば残りが何であれクリアとみなす。

女性：お見舞いならそうと言ってくれた方がこちらとしても安心できるのに、不器用な人。

「証明可能な煙突掃除人」

【回数：少】【NPC 巡回型】【ミスリードなし】

依頼主：少女

「サンタさんからお手紙もらったの。返事を書きたいから住所を調べて」

NPC：君と同じ住所だよ。

→手がかり「残酷な真実」入手

出口：手がかり「残酷な真実」があればクリアとみなす

執筆者：ごめんなさい、冗談です。